

KOBELCO



あしたにいいこと、
KOBELCOと。

KOBELCO
個人株主様向け
オンライン説明会

2023年12月14日
株式会社 神戸製鋼所

KOBELCO 個人株主様向けオンライン説明会

1. KOBELCOグループについて

2. 2023年度第2四半期の業績及び
2023年度業績見通し
3. カーボンニュートラルへの取組み
4. 人的資本に関する取組み
5. 経営層と社員の対話活動
6. 社会貢献活動について

1. KOBELCOグループについて



会社名	株式会社神戸製鋼所
創業	1905年9月1日
資本金	2,509億円*
連結売上高	2兆4,725億円*
連結従業員数	38,488名*
代表取締役社長	山口 貢
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード 5406) 名古屋証券取引所プレミア市場 (証券コード 54060)

*2023年3月末現在

1. KOBELCOグループについて

グループ企業理念

KOBELCO が 実現したい未来	「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来 安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。
KOBELCO の 使命・存在意義	KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命 個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。
KOBELCO の 3つの約束	KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します
KOBELCO の 6つの誓い	「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範 1. 高い倫理観とプロ意識の徹底 2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 3. 働きやすい職場環境の実現 4. 地域社会との共生 5. 環境への貢献 6. ステークホルダーの尊重 品質憲章

1. KOBELCOグループについて

社会課題に答え続けてきたKOBELCOグループのDNA

KOBELCOグループは、1905年の神戸製鋼所の創業以降、社会の発展のために、お客様が必要とされる製品をお客様とともに作り、提供してきました。また、お客様からの要望に対し、真摯に向き合い、ものづくりに取り組んできました。様々な課題に果敢に挑戦し、社会課題の解決や社会の発展に貢献していく姿勢は、当社グループの使命・存在意義そのものと考えています。

挑戦し続ける
風土

社会課題解決
の精神

グループ
総合力
(かけ算)
の追求

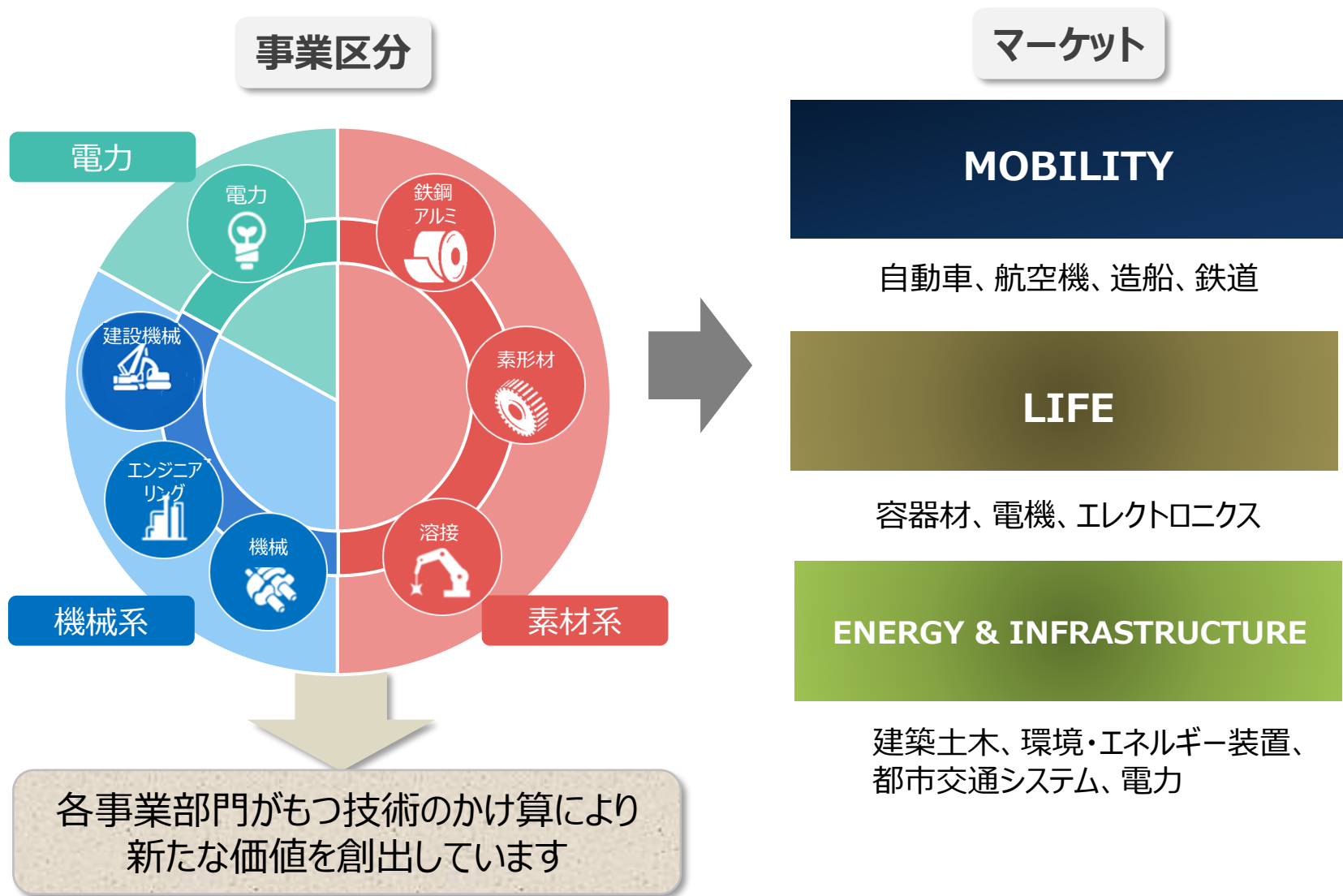
多様な個性と
技術の融合

当社グループの生み出した国産第一号製品

1914年	機械系	国内初の空気圧縮機の開発を開始
1926年	機械系	国内初のセメントプラント完成
1930年	機械系	国産第一号の電気シヨベル完成
1940年	素材系	国内初の溶接棒の生産開始
1955年	素材系	国内初の金属チタン工業生産開始
1962年	機械系	国内初のプラント輸出(東パキスタン)

1. KOBELCOグループについて

KOBELCOグループが活躍しているマーケット



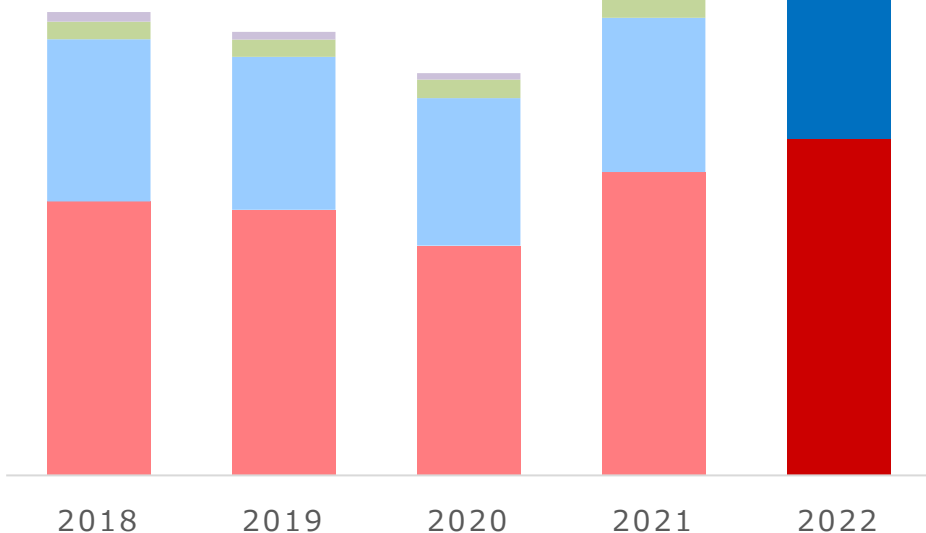
1. KOBELCOグループについて

売上高／経常損益

- 素材系事業（鉄鋼アルミ・素形材・溶接）
- 機械系事業（機械・エンジニアリング・建設機械）
- 電力事業
- その他

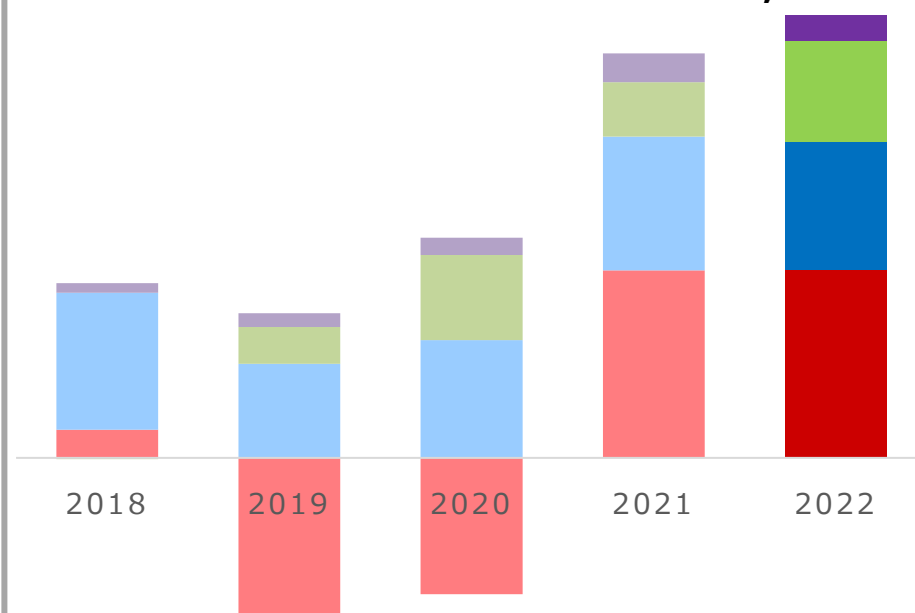
売上高

2兆4,725億円



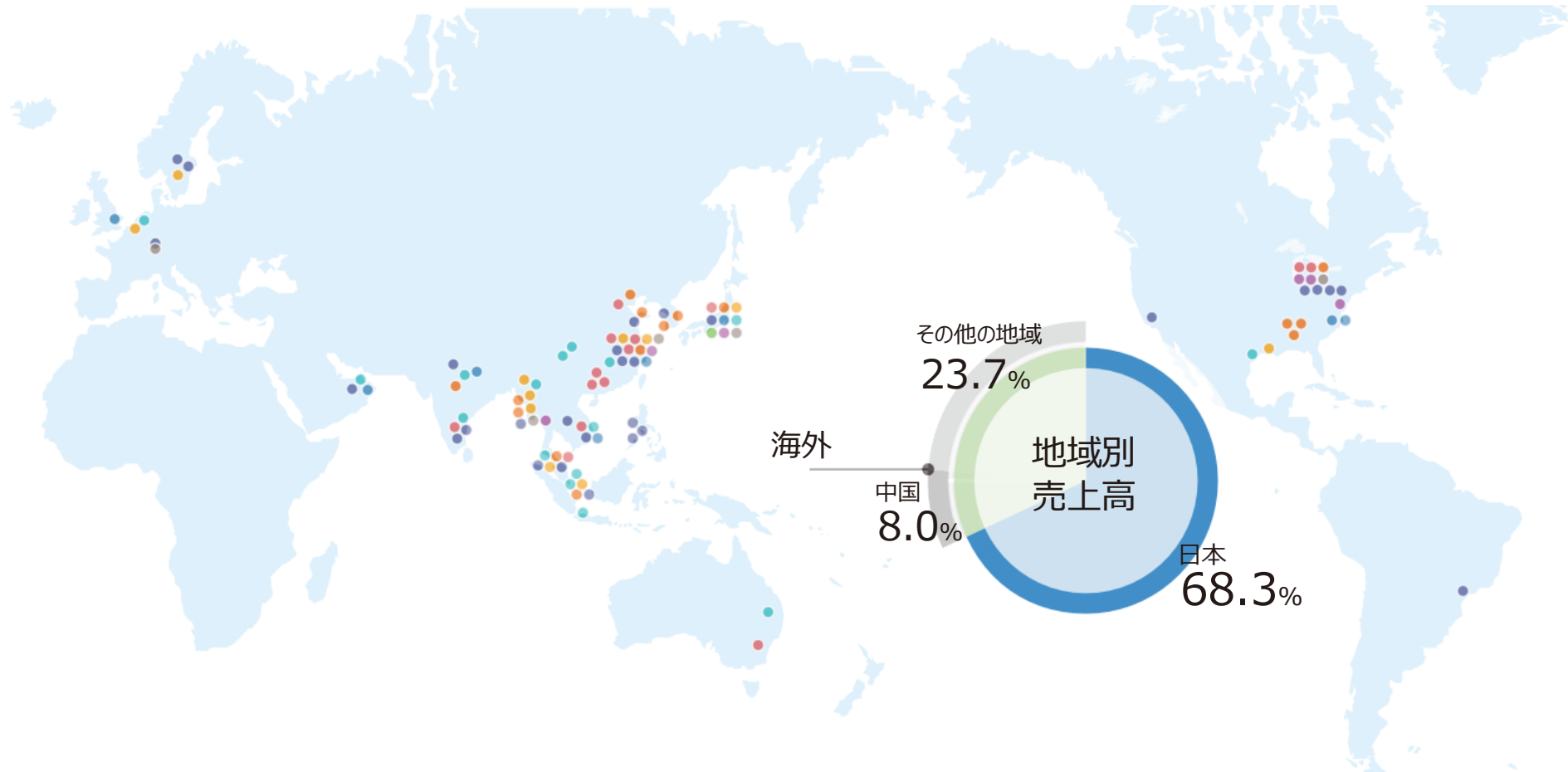
経常損益

1,068億円



1. KOBELCOグループについて

グローバル展開



●鉄鋼アルミ ●素形材 ●溶接 ●機械 ●エンジニアリング ●建設機械 ●電力 ●その他 ●統括会社

KOBELCO 個人株主様向けオンライン説明会

1. KOBELCOグループについて
2. 2023年度第2四半期の業績及び
2023年度業績見通し
3. カーボンニュートラルへの取組み
4. 人的資本に関する取組み
5. 経営層と社員の対話活動
6. 社会貢献活動について

2. 2023年度第2四半期の業績及び2023年度業績見通し

2023年度第2四半期業績

- 自動車の生産台数は、**半導体不足影響の緩和**などにより前年同期比で増加したものの、**IT・半導体分野における需要の減少**や、**建築・土木分野**などの需要低迷などにより、**鉄鋼・アルミ板**の販売数量は減少。
- **経常利益**は、**鉄鋼・アルミ板**での販売数量の減少、**在庫評価影響の悪化**、**建設機械**での**エンジン認証問題**に関する補償金収入の剥落があったものの、**鉄鋼メタルスプレッドの大幅な改善**や、**電力**での**神戸発電所4号機の稼働**や**燃料費調整の時期ずれ影響の改善**、**売電価格に関する一過性の増益影響**などにより、過去最高益。

売上高

1兆2,538億円

(前年同期比 + 841億円)

営業損益

921億円

(前年同期比 + 723億円)

経常損益

過去
最高益

916億円

(前年同期比 + 497億円)

親会社株主に帰属する当期純利益

過去
最高益

803億円

(前年同期比 + 523億円)

2. 2023年度第2四半期の業績及び2023年度業績見通し

2023年度通期業績見通し

- 建築・土木分野の需要減少やIT・半導体分野の需要回復の一部遅れなどに伴う**素材系事業での販売数量の減少**、欧州・東南アジアを中心とした**建設機械での販売台数の減少**を余儀なくされる見通し。一方、需要が堅調な**機械**においては、**受注高の増加**を見込み、過去最高を記録した前年並みとなる見通し。
- **経常利益**は、**素材系事業・建設機械での販売数量の減少**があるものの、機械でのサービス案件の増加や受注採算の改善、建設機械での円安による輸出採算の改善、**電力での売電価格に関する一過性の増益影響**、さらには**在庫評価影響の改善**などにより、**1,450億円**の見通し。

売上高

2兆5,700 億円

(前年比 + 975億円)

営業損益

1,650億円

(前年比 + 787億円)

経常損益

1,450億円

(前年比 + 382億円)

親会社株主に帰属する当期純利益

過去
最高益

1,200億円

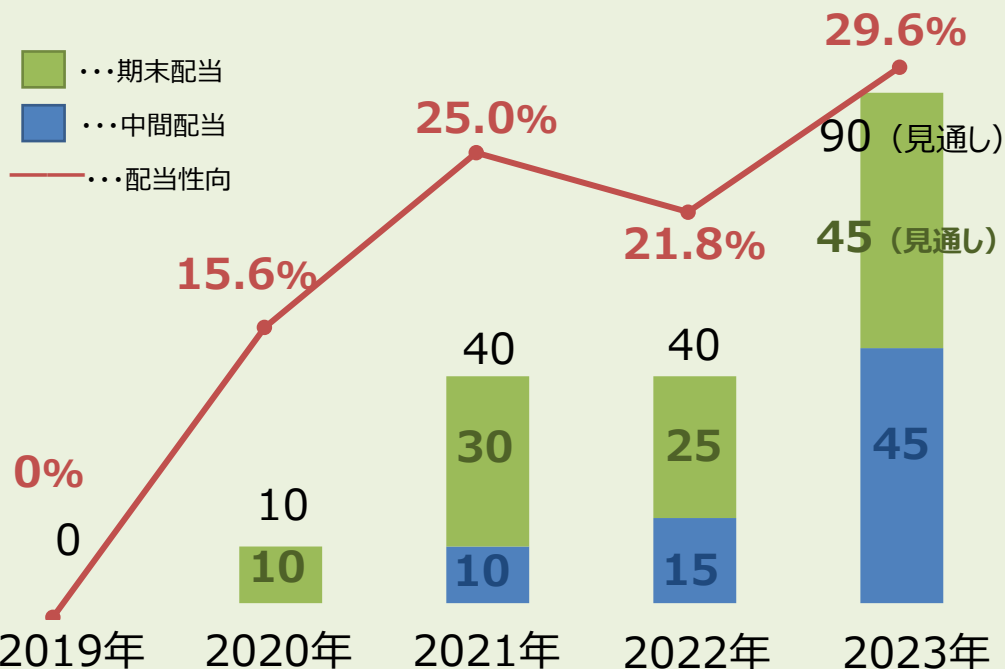
(前年比 + 475億円)

2. 2023年度第2四半期の業績及び2023年度業績見通し

株主還元について

- 配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要などを総合的に考慮して決定することとしております。
- 配当性向につきましては、**親会社株主に帰属する当期純利益（連結）の15%～25%**を目安としておりましたが、株主の皆様への利益還元の更なる充実のため、**当期より配当性向を「同30%程度を目安」に変更**しております。

配当及び配当性向の推移 （単位1株当たりの配当金：円）



2023年度年間配当

中間配当

（基準日：2023年9月30日）

45 円/株

期末配当

（基準日：2024年3月31日）

45 円/株
（見通し）

2023年度 年間配当

90 円/株
（見通し）

KOBELCO 個人株主様向けオンライン説明会

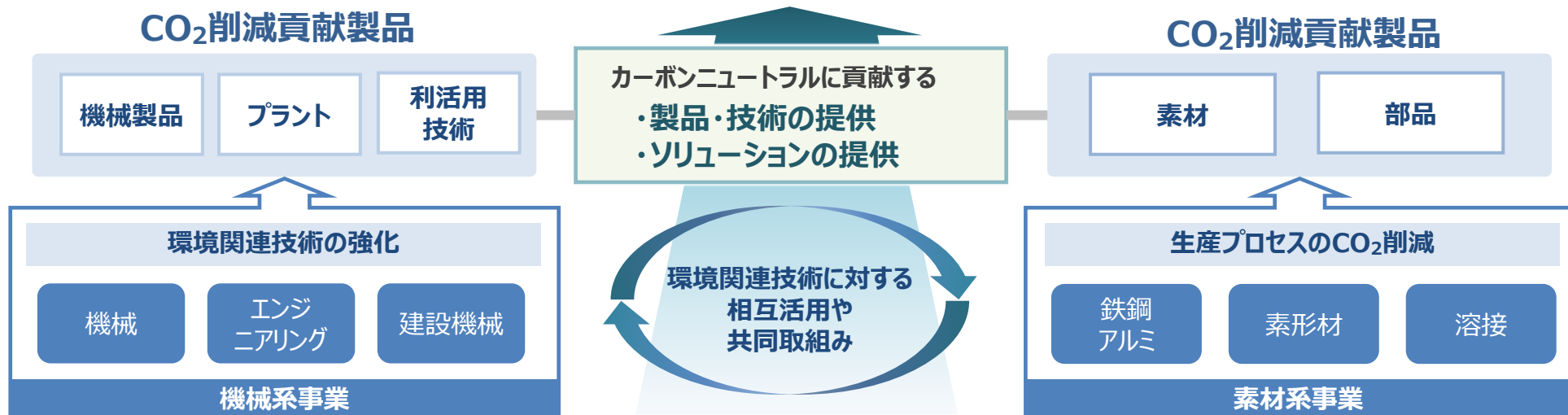
1. KOBELCOグループについて
2. 2023年度第2四半期の業績及び
2023年度業績見通し
3. **カーボンニュートラルへの取組み**
4. 人的資本に関する取組み
5. 経営層と社員の対話活動
6. 社会貢献活動について

3. カーボンニュートラルへの取組み

グループの総合力で製品・技術に加えて、ソリューション提供にも取り組んでいます。

	2030年目標	2050年ビジョン
生産プロセスにおける CO₂削減	30~40% (2013年度比)	カーボンニュートラルへ 挑戦し、達成を目指す
技術・製品・サービスによる CO₂排出削減貢献 (※1)	6,100万t (うちMIDREX®4,500万t以上)	1億t以上

【2050年ビジョン】カーボンニュートラルへの挑戦



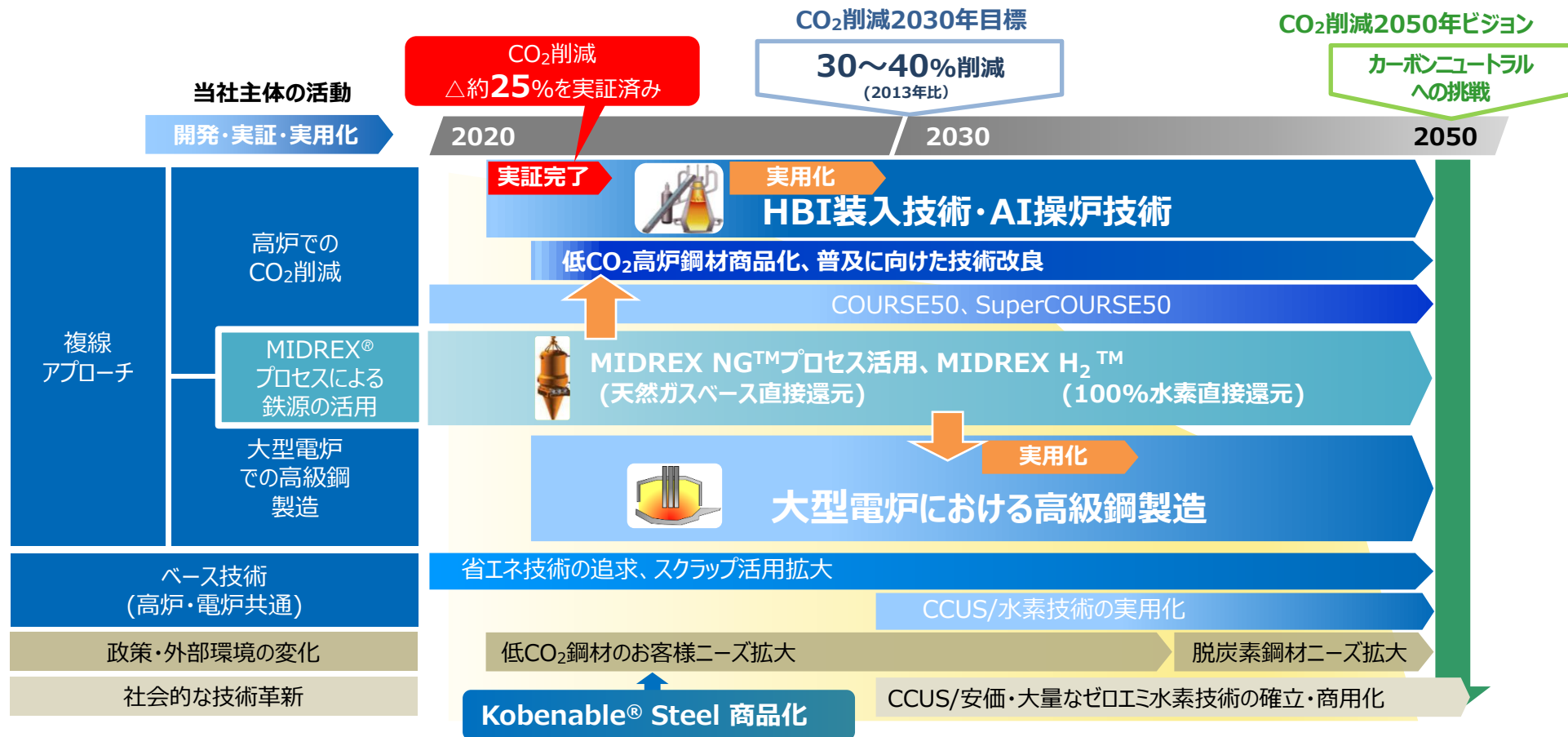
(※1) 当社グループ独自の技術・製品・サービスを通じて社会の様々な分野でCO₂排出削減に貢献



生産プロセスにおけるCO₂削減

製鉄プロセスのカーボンニュートラルへの取組み

- 当社グループでは、MIDREX®プロセスによる鉄源の活用を軸にカーボンニュートラルへの取組みを進めています。
- MIDREX®プロセスを用いた直接還元鉄の製造技術・利用技術を有していることが当社グループの強みであり、鉄鋼アルミ事業部門とエンジニアリング事業部門の技術の掛け合わせによる2050年のカーボンニュートラル挑戦に取り組んでいます。



3. カーボンニュートラルへの取組み

鉄鋼アルミ



エンジニアリング

- 2030年目標のCO₂排出量30～40%削減に向けては、**当社グループの独自技術**である「**製鉄工程におけるCO₂低減ソリューション**」を活用していきます。本技術は、既存の高炉に対して大幅な設備改造を必要することなくCO₂削減が達成可能とするものです。

→ 2023年10月には、CO₂削減技術をさらに深化させ、25%削減の実証に成功したことを公表しています。

【2050年ビジョン】カーボンニュートラルへの挑戦

<2023年10月公表>

製鉄工程における CO₂低減ソリューション

鉄鋼

×

エンジニアリング

CO₂ **25%**削減を実証済み

<KOBELCOグループ独自の技術>

MIDREX®

HBI製造技術

×

HBI装入技術の深化

×

AI操炉技術

×

ペレット改質技術

×

衝風制御技術

【2030年目標】

CO₂排出量30～40%削減

2026～29年

2022～23年

～2021年

高炉へのHBI連続装入の実現

- HBI最大装入技術の実現
- 量産に対応した設備の戦力化

高炉へのHBI装入技術の深化

- ① 高炉へのHBI装入技術の高度化
- ② 高炉へのHBI装入設備の検討

低CO₂高炉鋼材の販売

- HBI装入によるCO₂削減効果を商品化



Kobenable Steel

3. カーボンニュートラルへの取組み

技術・製品・サービスによるCO₂排出削減貢献

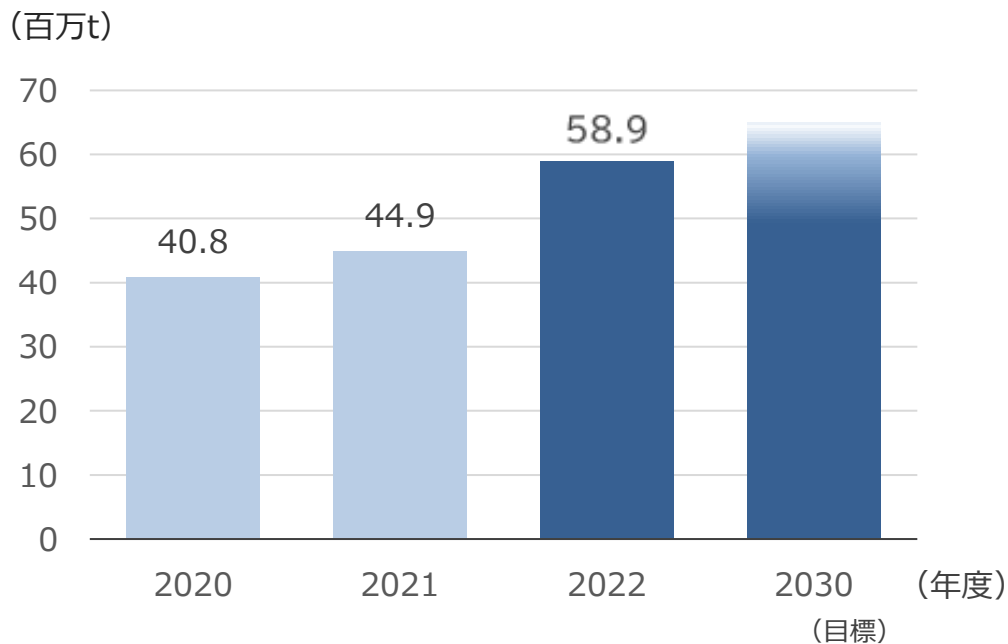
2050年ビジョン

CO₂排出削減貢献量 **1億t**以上

2030年目標

CO₂排出削減貢献量 **61百万t**以上

CO₂排出削減貢献量実績の推移



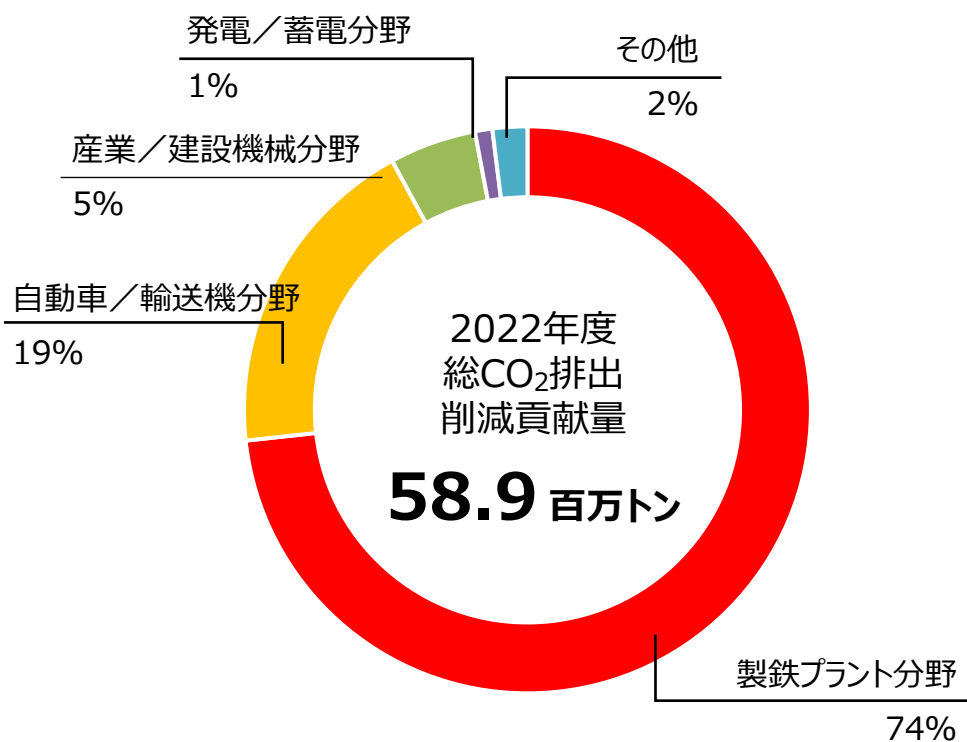
当社グループの2022年度の
技術・製品・サービスによる
CO₂排出削減貢献量は
58.9百万t と推計しています。

※ CO₂排出削減貢献量の計算式については、国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEAラボ 田原聖隆ラボ長にご指導いただくことで、公正性・客観性を担保しています。なお、CO₂排出削減貢献量の算出については、最新の係数を使用しており、2022年度の算出において係数を見直しています。

3. カーボンニュートラルへの取組み

技術・製品・サービスによるCO₂削減（内訳）

MIDREX[®]プロセスを中心に、KOBELCOグループの様々な製品が世の中のCO₂排出削減に貢献しています。



技術・製品・サービス		削減貢献量 [万t/年]
製鉄プラント分野	MIDREX [®]	4,341
自動車／ 輸送機分野	自動車向け超ハイテン 超ハイテン用溶接材料	922
	懸架ばね用線材	27
	自動車弁ばね用線材	80
	造船用ハイテン	25
	自動車用アルミ材	31
	鉄道車両用アルミ材	7
産業／ 建設機械分野	ヒートポンプ、汎用圧縮機、 スチームスター、バイナリー 発電装置、エコセントリ	258
	省エネ建設機械	48
発電分野	木質バイオマス発電、 ごみ発電	20
その他	高炉セメント、 熱処理工程省略可能な 線材・棒鋼	132

3. カーボンニュートラルへの取組み

MIDREX®プロセスとは？

当社米国100%子会社 Midrex Technologies, Inc.が展開する直接還元製鉄法

① 製造プロセス

- **天然ガス**を改質した還元ガス（水素リッチ）や水素で鉄鉱石を直接還元することで、
- 鉄鋼原料である**還元鉄（DRI : Direct Reduced Iron）**を製造するプロセス

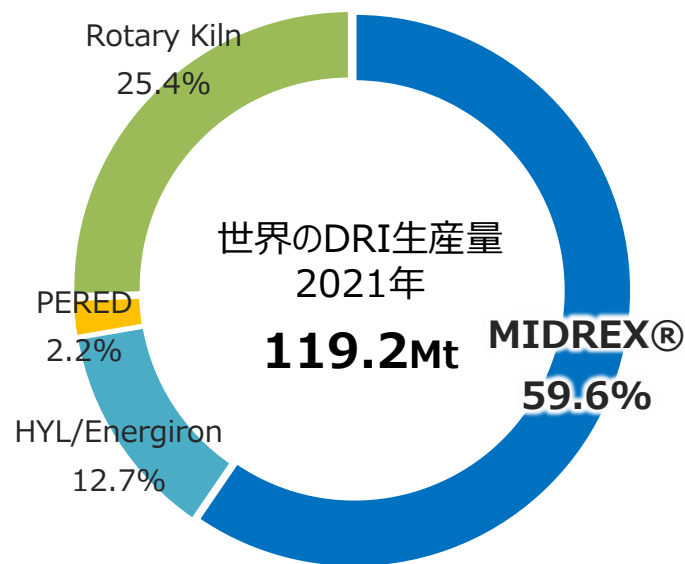
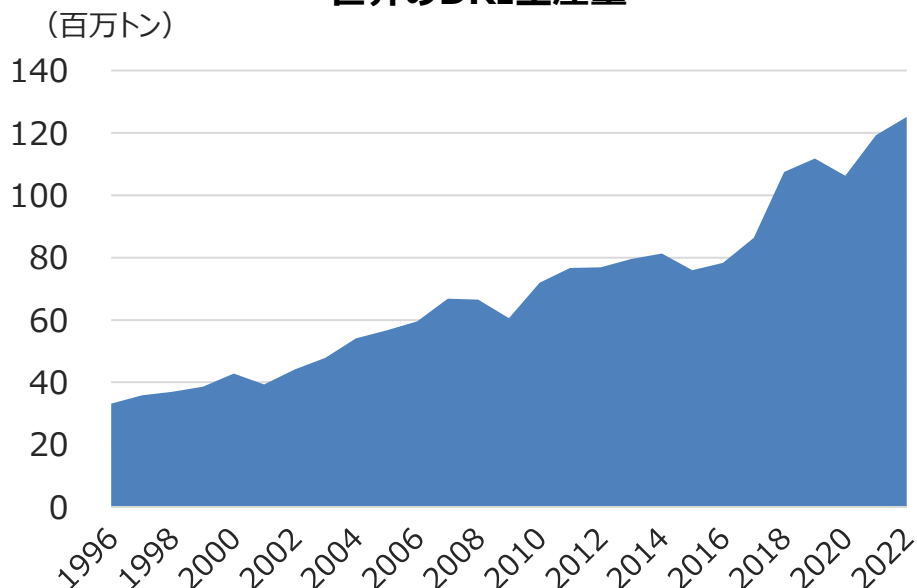
② CO₂削減

- **20~40% 削減**（「還元鉄・電炉」と「高炉・転炉」の比較、MIDREX NG™の場合）

③ 豊富な実績

- 世界の還元鉄生産量の60%（天然ガスベースでは**80%**）、**90基超**の納入実績

世界のDRI生産量





低CO₂高炉鋼材 “Kobenable® Steel”

当社が国内で初めて商品化した低CO₂高炉鋼材 “Kobenable® Steel”については採用いただくお客様が着実に増加しています。

薄板

自動車

2022年6月

トヨタ自動車様



競技車両「水素エンジンカローラ」のサスペンションメンバーに採用

薄板

自動車

2022年12月

日産自動車様



日産自動車様の生産する量産車に順次適用

線条

自動車

2023年7月

トヨタ自動車様



競技車両「GR86」の株式会社青山製作所様製エンジン部品締結ボルトに採用

厚板

建設

2022年12月

IHI様、鹿島建設様 三菱地所様



「（仮称）豊洲4-2街区再開発計画B棟（東京都江東区豊洲）」新築工事に採用

厚板

造船

2023年3月

今治造船様



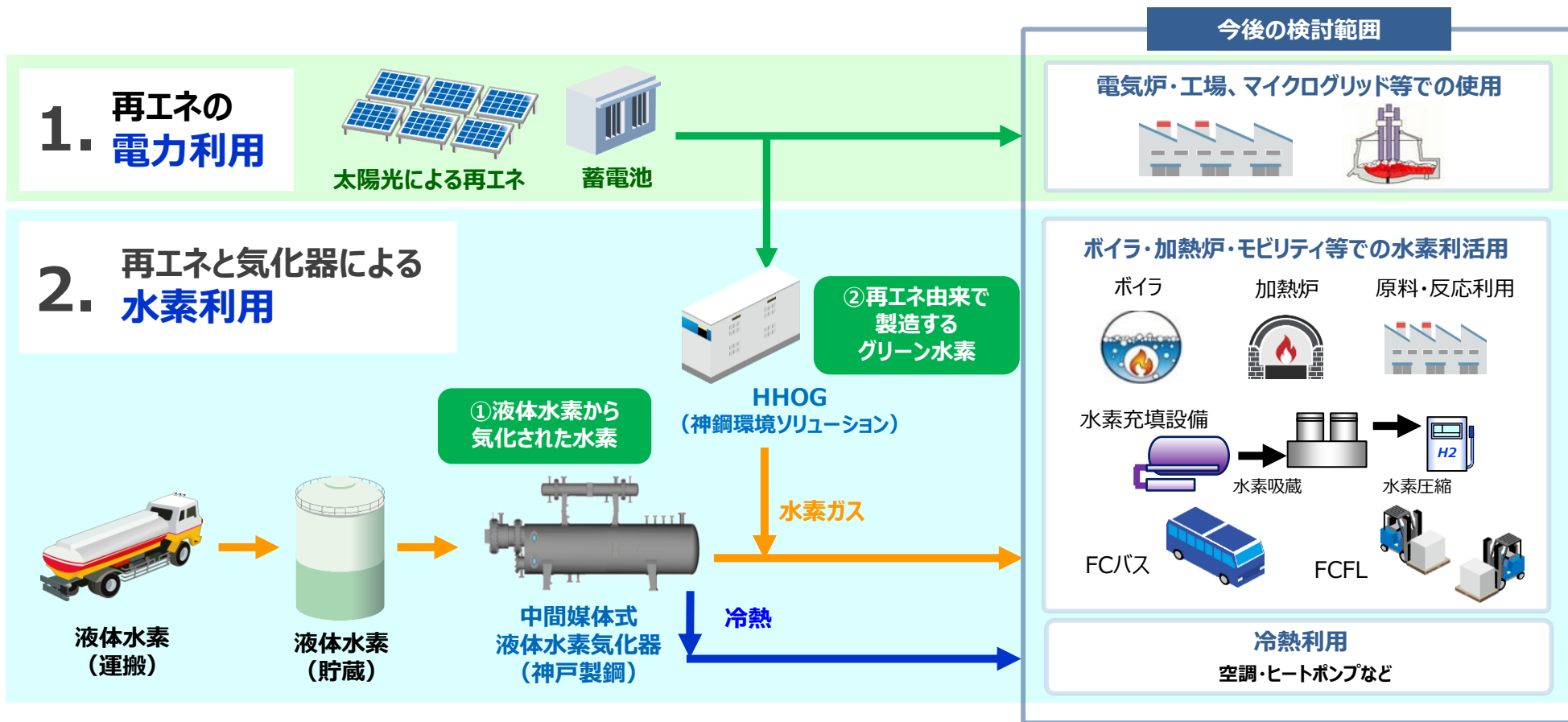
今治造船様が建造する18万t級バルクキャリアに採用

Kobenable® Steelの採用に加えて、(株)青山製作所様の製造工程における熱処理を省略することで、ボルト製造工程でのCO₂削減も実現

★全て “KOBENABLE Premier®” にて受注

ハイブリッド型水素ガス供給システム

- 今後の成長が期待される水素産業に対しては、当社グループの有する様々な技術・製品・サービスの活用が期待されます。
- 当社グループでは、それらを統合的に活用した「ハイブリッド型水素ガス供給システム」の実証に取り組んでいます。

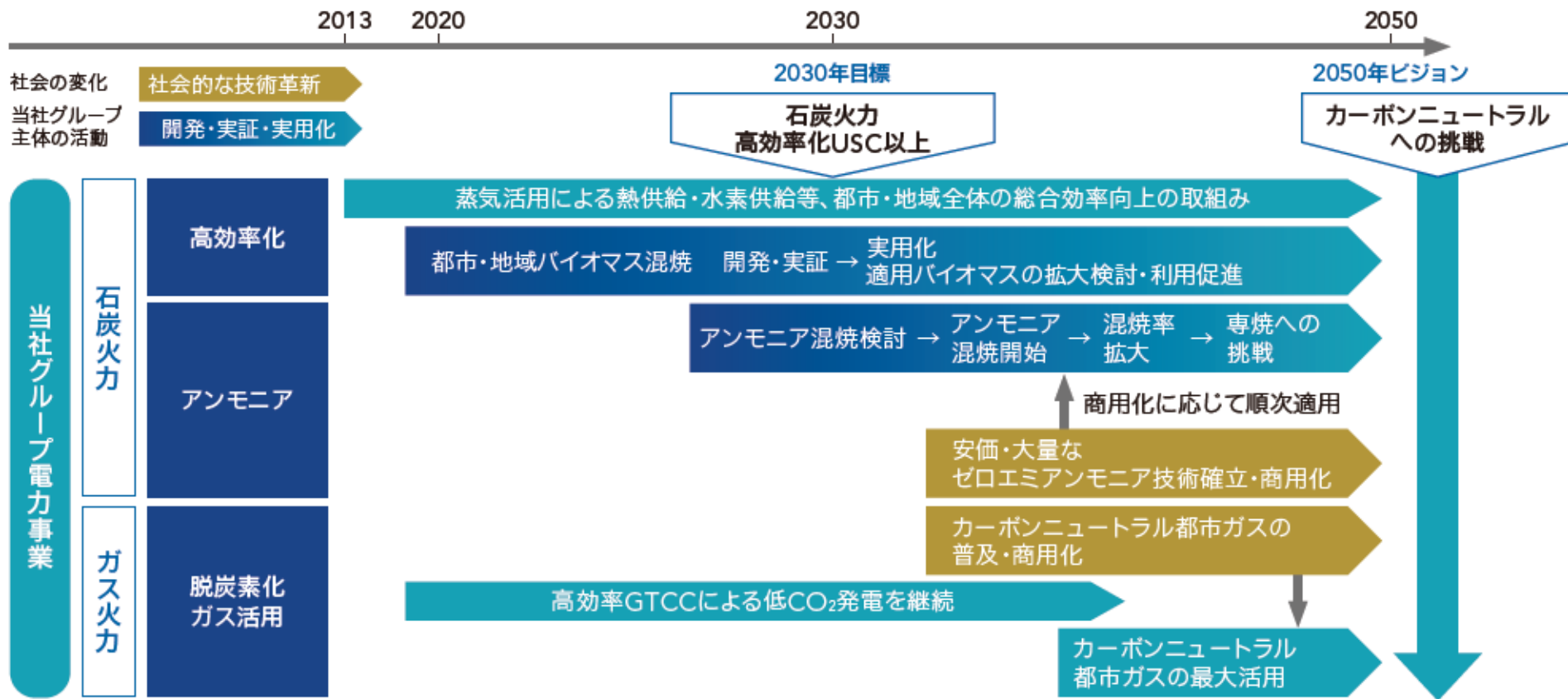


※ 実証の一部は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術開発機構による「水素社会構築技術開発事業」における調査委託、および助成事業に採択されています。
a 「熱によるエネルギー消費が主体の工場の脱炭素化に向けた水素利活用モデルに関する調査」、b 「液化水素冷熱の利用を可能とする中間媒体式液体水素気化器の開発」

3. カーボンニュートラルへの取組み

電力事業のカーボンニュートラルへの取組み

- 神戸発電所の石炭火力では、**発電所の蒸気を活用して周辺地域に熱や水素を供給**することで、地域全体でのエネルギー利用の効率化を図ります。さらに、電力事業部門とエンジニアリング事業部門が連携し、**バイオマス燃料（下水汚泥、食品残渣）の混焼、アンモニア混焼→専焼のCO₂削減の取組みを強化し、世界最先端の都市型石炭火力発電所を目指しています。**
- 真岡発電所のガス火力では、高効率GTCCによる低CO₂発電の安定操業を継続することに加え、カーボンニュートラル都市ガスの最大活用を検討し、これらの施策により、2050年のカーボンニュートラルへ挑戦し、達成を目指しています。



KOBELCO 個人株主様向けオンライン説明会

1. KOBELCOグループについて
2. 2023年度第2四半期の業績及び
2023年度業績見通し
3. カーボンニュートラルへの取組み
4. **人的資本に関する取組み**
5. 経営層と社員の対話活動
6. 社会貢献活動について

4. 人的資本に関する取組み

人材戦略の推進

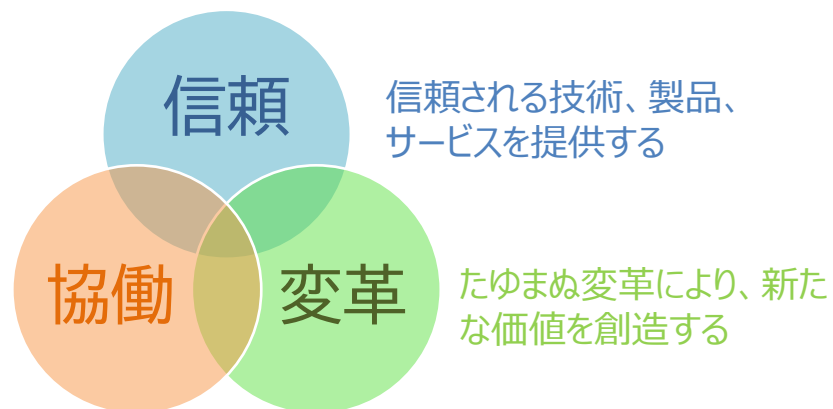
KOBELCOグループは、企業としての社会的責任を果たし、新たな価値を創造するために、グループ企業理念を理解し実践できる人材を育成することが重要だと考えています。

KOBELCOグループ企業理念

マテリアリティ

中期経営計画

【グループ企業理念を実践できる人材】



社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊ぶ

【当社グループ人材戦略の3つのアプローチ】

組織の多様性を高める

一人ひとりの成長・挑戦を促す

活躍できる環境を整備する

主な施策

多様な人材の採用

D & I 推進

成長・挑戦意欲につながる配置

能力・役割に応じた処遇

人材の育成

働き方変革推進

人権意識の向上

安全・健康な職場づくり

4. 人的資本に関する取組み

多様な人材の採用

グループ企業理念や事業内容に共感し、KOBELCOグループで活躍したいという気概あふれる人材を積極的に採用しています。

新卒採用

- 座談会、工場見学会、インターンシップ等の実施を通じ、**当社の「人」の魅力を最大限に感じてもらう機会を用意し、採用活動を展開しています。**
- 今年度より、特に次の世代を担う若者世代に当社グループをより身近に感じていただくために、**新たな企業CMを作成**しました。今後、**本CMと連携した採用活動を展開**していきます。

新卒採用女性比率

目標	20年実績	21年実績	22年実績
2023年度：			
a.総合職事務系 50%以上	a.34%	a.35%	a.48%
b.総合職技術系 15%以上	b.16%	b.6%	b.10%
c.基幹職技能系 15%以上	c.9%	c.8%	c.8%



キャリア採用

- 更なる組織強化のため、外部の知見や多様な価値観を取り入れることが重要であると認識しており、**過去10年以上キャリア採用にも注力**しています。
- **現在は在籍比率も30%を超えて**おり、各部署で活躍いただいています。
- 2023年5月から、「**リファラル採用**」も**新設**し、新たな採用手法も展開しています。

※ リファラル採用とは

自社で実力を発揮できそうな親族や知人・友人を、社員自らが会社に紹介し、正規の選考を経て採用する手法。

4. 人的資本に関する取組み

ダイバーシティ&インクルージョン (D&I)推進

多様な人材が活躍できる職場環境を実現するため、D & I基本方針を制定し、D & I推進を強化しています。

目指す姿

多様な人材が全員活躍できる職場環境を実現する

- 一人ひとりが個性と強みを発揮し、成長を実感する
- KOBELCO ONE TEAMで挑戦し、多様なアイデアや経験から新たな価値を実現する

基本方針

一人ひとりの強みを活かします

- 多様な個性を認め合い、強みを活かす
- 意見を交わし合い、互いに理解を深めて、人材の活躍を促進する

多様な働き方を追求します

- 職種、働き方の制約、ライフステージに関わらず、働きやすい職場環境を創造する
- やる気に満ち溢れた働きがいのある職場の実現に向けて、マネジメント力を向上する

新たな価値の創造にチャレンジします

- 組織の枠を超えて関わり合い、互いに学ぶ
- 異なる意見やアイデアから生まれる新たな発想を尊重する
- 失敗を恐れず挑戦できる風土を醸成する

4. 人的資本に関する取組み

ダイバーシティ&インクルージョン (D&I) 推進

育児支援制度の利用促進や、利用しやすい制度への見直しにも取り組んでいます。

育児支援制度の利用促進

- 性別に関わらず、仕事と子育ての両立を支援する取組みを進めています。
- メールやレター、ポスター等を通じ、育児休業・育児休暇取得を積極的に呼びかけており、特に男性社員の取得者が増えています。

<育児支援制度利用実績>

育児休業取得率（※1）&平均日数（※2）

	2020年度	2021年度	2022年度
男性	8.2% 76日	16.5% 57日	32.0% 62日
女性	97.3% 470日	100.0% 431日	100.0% 487日

※1 年度内に子どもが出生した社員の取得率

※2 前年度に引き続いて取得した者を含む人数

育児のための特別休暇取得率

	2020年度	2021年度	2022年度
男性	77.8%	78.5%	88.0%

KOBELCOライフサポート休暇

- 今年度から、福祉休暇及び一部の特別休暇（子の育児、家族の大患）を廃止し、「**KOBELCOライフサポート休暇**」を新設しました。
- 従来の福祉休暇及び一部の特別休暇（子の育児、家族の大患）より取得自由が拡大し、様々な事情に応じて柔軟に利用できる制度となっています。

<制度概要>

取得理由	病気、介護/看護、休校休園、ボランティア、子の育児、治療（不妊治療含む）、骨髄ドナー、学び直し等
制度概要	<ul style="list-style-type: none">■ 毎年4月に5日の休暇（有給）を付与■ 最大60日まで積み立て可能■ 子の育児は半日単位、その他は1日単位で取得可

KOBELCO 個人株主様向けオンライン説明会

1. KOBELCOグループについて
2. 2023年度第2四半期の業績及び
2023年度業績見通し
3. カーボンニュートラルへの取組み
4. 人的資本に関する取組み
5. **経営層と社員の対話活動**
6. 社会貢献活動について

5. 経営層と社員の対話活動

全社員が一つになって「誇り」「自信」「愛着」「希望」あふれる企業集団をつくり、持続的に発展していくことを目指した活動として、「KOBELCOの約束 Next100プロジェクト」を2017年度より開始しています。

取組み例（経営層と社員の対話活動）

- 社長をはじめとする経営幹部が社員に対して想いを直接語りかけ、信頼回復に向けた改革に対する本気度を積極的に示す活動。社長はこれまで延べ約150回、1,500人と対話実施（2023年3月末時点）
- オンラインでのイベント「KOBELCOの集い」は2022年度累計約5,000人が参加



社長が直接事業所に赴き、対話活動をしています

KOBELCO 個人株主様向けオンライン説明会

1. KOBELCOグループについて
2. 2023年度第2四半期の業績及び
2023年度業績見通し
3. カーボンニュートラルへの取組み
4. 人的資本に関する取組み
5. 経営層と社員の対話活動
6. 社会貢献活動について

6. 社会貢献活動について

KOBELCOグループは、子どもたちや青少年の育成支援をはじめ、過去より様々な活動を行ってきています。2022年度は、ユニセフを通じた寄付や事業所が立地する地域自治体への寄付等も含め、社会貢献活動費用として約7億9千万円を支出しています。

教育・研究支援 取組み一例

灘浜サイエンススクエア

- 2004年度より「発電」「製鉄」「エネルギー」「環境」をテーマに、科学・技術の面白さを遊び・学び・体験できる体感型ミュージアムを神戸市灘区にて運営しています。
- 映像展示や体感型展示により、4つのテーマについてわかりやすく紹介しています。



KOBELCO森の童話大賞

- 2013年度より次世代を担う子どもたちに、様々な自然の恵みをもたらす森を大切にする気持ちを育んでもらうことを目的に、全国の小中高生から「森」をテーマにしたおはなしを募集しています。
- 金賞作品は絵本作家の挿絵で絵本化し、後援自治体所管の学校や図書館等に寄贈しています。



6. 社会貢献活動について

スポーツ通じた社会貢献 取組み一例

2021年9月に神戸市と事業連携協定を締結。
2023年11月には、兵庫県と包括連携協定を締結。
スポーツの振興や市民の健康増進、青少年の健全育成、地域活性化などに貢献。

神戸市消防局と初コラボ 「火災予防運動」をPR

ポスターやノエビアスタジアムでの消防車両展示などを通じ、
神戸市民の皆様へ
火災予防を呼びかける
「火災予防運動」をPR



兵庫県警葺合警察署より 感謝状を贈呈いただきました！

2019年6月より、神戸本社近隣小学校の児童見守り隊活動を実施しています。
この度、その功績が認められ、兵庫県警葺合署より感謝状をいただきました。



コベルコ神戸スティーラーズへのご声援よろしくお願いたします！



<p>【第1節】 HOST GAME</p> <p>12/9 SAT</p> <p>VS 三重ホンダヒート ノエビアスタジアム神戸</p>	<p>【第2節】</p> <p>12/17 SUN</p> <p>VS 静岡ブルーレヴズ ヤマハスタジアム (静岡)</p>	<p>【第3節】 HOST GAME</p> <p>12/24 SUN</p> <p>VS 東芝ブレイルーパス東京 ノエビアスタジアム神戸</p>	<p>【第4節】</p> <p>1/6 SAT</p> <p>VS 東京サントリーサンゴリアス 秩父宮ラグビー場 (東京)</p>	<p>【第5節】 HOST GAME</p> <p>1/14 SUN</p> <p>VS クボタスピアーズ船橋・東京ベイ ノエビアスタジアム神戸</p>	<p>【第6節】</p> <p>1/27 SAT</p> <p>VS 横浜キャノンイーグルス ニッパツ三ツ沢球技場 (神奈川)</p>	<p>【第7節】</p> <p>2/25 SUN</p> <p>VS リコブブラックラムズ東京 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場 (東京)</p>	<p>【第8節】 HOST GAME</p> <p>3/3 SUN</p> <p>VS トヨタヴェルブリッツ 東大阪市花園ラグビー場</p>
<p>【第9節】</p> <p>3/10 SUN</p> <p>VS 三菱重工相模原ダイナポアーズ 相模原ギオンスタジアム (神奈川)</p>	<p>【第10節】 HOST GAME</p> <p>3/16 SAT</p> <p>VS 埼玉パナソニックワイルドナイツ 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場</p>	<p>【第11節】 HOST GAME</p> <p>3/24 SUN</p> <p>VS 花園近鉄ライナーズ 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場</p>	<p>【第12節】 HOST GAME</p> <p>4/7 SUN</p> <p>VS 東京サントリーサンゴリアス 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場</p>	<p>【第13節】</p> <p>4/14 SUN</p> <p>VS 東芝ブレイルーパス東京 東京都内</p>	<p>【第14節】</p> <p>4/21 SUN</p> <p>VS クボタスピアーズ船橋・東京ベイ 札幌ドーム (北海道)</p>	<p>【第15節】 HOST GAME</p> <p>4/27 SAT</p> <p>VS 静岡ブルーレヴズ 大阪府内</p>	<p>【第16節】</p> <p>5/4・5・6</p> <p>VS 三重ホンダヒート 未定</p> <p><small>*日程未決定の為、3日間のいずれか</small></p>

社会からの評価 (2023年12月時点)

FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数



MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

THE INCLUSION OF Kobe Steel, Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Kobe Steel, Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF Kobe Steel, Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Kobe Steel, Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

CDP



「気候変動」で
「A- (Aマイナス)」の評価

プラチナくるみん



PRIDE指標



「ゴールド」を受賞



「ベストプラクティス」
に選定

健康経営優良法人 2023



2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

健康経営銘柄2023



2023
健康経営銘柄
Health and Productivity

証券アナリストによる ディスクロージャー優良企業選定

ディスクロージャー
2023年度 優良企業



鉄鋼・非鉄金属部門において
初の第1位に選定

統合報告書、ESGデータブックのご案内

2023年度統合報告書およびESGデータブックを9月8日に発行しました。
当社ホームページより是非ご覧ください。

統合報告書



ESGデータブック



https://www.kobelco.co.jp/about_kobelco/outline/integrated-reports/index.html

画面上の「メッセージ」からご質問・ご意見をご入力ください

<画面イメージ>

① メッセージタブ

メッセージ 視聴アンケート

【メッセージの送信について】
当社へのご質問・ご意見等を送信することが可能です。
内容をご入力いただき、送信ボタンを押してください。

※送信いただいたご質問・ご意見は、説明会内や後日当社ウェブサイト等においてご紹介させていただく場合がございます。
※お名前の明記は不要です。明記された場合も、お名前は省いて対応させていただきます。

カテゴリを選択してください

文字数: 0

ご入力ください

③ 入力

② カテゴリを選択

事前にいただいたご質問

配当に関するご質問

事前にいただいたご質問

PBR・株価に関するご質問

事前にいただいたご質問

11月28日に公表した
ユーロ円建取得条項付
転換社債型新株予約権付社債
に関するご質問

事前にいただいたご質問

来期業績に関するご質問

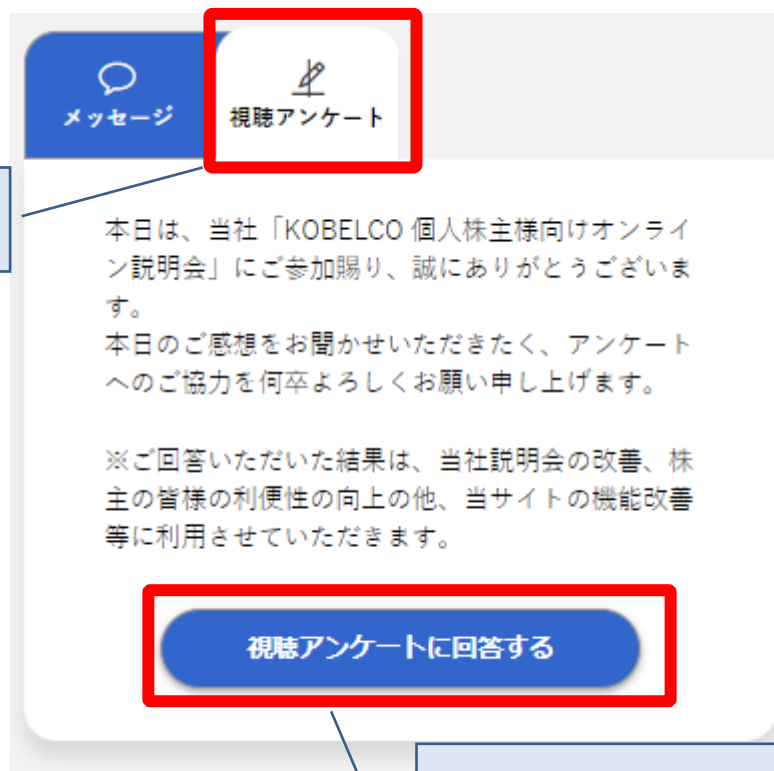
事前にいただいたご質問

石炭火力発電に関するご質問

アンケートのご協力をお願いいたします

<画面イメージ>

① 視聴アンケートタブ



② 「視聴アンケートに回答する」をクリックし回答